

2023年5月15日

各位

会社名 日本特殊塗料株式会社  
代表者名 代表取締役社長 遠田 比呂志  
(コード番号4619 東証プライム)  
問合せ先 執行役員業務本部 力武 洋介  
財務部長兼総務部長  
(TEL 03-3913-6134)

## 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は2023年6月22日開催予定の第117期定時株主総会に付議する予定であります。

### 記

#### 1. 期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月11日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2023年3月31日	同左	2022年3月31日
1株当たり配当金	22円00銭	同左	22円00銭
配当金の総額	480百万円	—	479百万円
効力発生日	2023年6月23日	—	2022年6月23日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 2. 理由

当社は、収益体質の強化およびキャッシュ・フローを重視した健全な財務内容の維持により、株主の皆様への利益還元の充実を図ることを経営上の重要課題と位置付けております。

一方、当社グループを取り巻く経営環境は、世界的規模で情報通信技術をはじめとした技術革新が急速に進展する中、顧客・時代のニーズに適した製品の開発競争は一層激化しており、カーボンニュートラルや人権問題等の多様かつ複雑な課題への対応も求められる状況にあります。

こうした状況下、当社が将来にわたり競争力を確保し、収益の向上を図るためには、積極的な研究開発投資による付加価値の高い技術・製品の開発、環境等への影響も考慮しつつ生産性向上を図るための有形・無形資産への投資、そして当社グループの持続的成長を支える人材への投資等を継続的に行っていく必要があります。

したがって、利益配分につきましては、中長期的な経営計画に基づき、安定配当の維持とこのような戦略的な投資に向けた内部資金の充実を中心に据えながら、財政状態、利益水準および配当性向等を総合的に勘案して決定することを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、上記の方針に基づき、1株当たり22円とすることといたしました。これにより、中間配当金20円を含めました年間配当金は1株当たり42円となります。

#### (ご参考) 年間配当の内訳

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績 (2023年3月期)	20円00銭	22円00銭	42円00銭
前期実績 (2022年3月期)	18円00銭	22円00銭	40円00銭

以上